

2024年11月15日

伊賀鉄道株式会社

鉄道旅客運賃の上限変更認可申請について

伊賀鉄道株式会社(本社:三重県伊賀市、代表取締役社長:福嶋博)では、11月15日付で国土交通省中部運輸局に鉄道事業の旅客運賃の上限変更認可申請を行いました。

申請の理由及び内容は以下のとおりです。

I. 申請理由

当社は2007年10月の伊賀鉄道株式会社発足以来、消費税率の引き上げによるものを除き約17年間、運賃を変更することなく第二種鉄道事業者として安全・安心な輸送を安定的にお客様へ提供すべく、第三種鉄道事業者である伊賀市とともに種々の努力を重ねてまいりました。本年3月にはICOCAサービスを導入し、全国交通系ICカードの利用が利用できるようになり、またスマホ定期券「バスもり」やデジタル1日フリー乗車券「RYDE PASS」など、デジタル化を進めることで経営効率化を図り、利便性向上に取り組みながら輸送サービスを提供してまいりました。

しかし、少子高齢化による沿線人口の減少に加え、社会情勢の変化や自動車交通の利便性向上によるモータリゼーションの変化等により、伊賀線の輸送人員におきましては、2008年度の2,042千人をピークに減少の一途をたどり、2023年度は1,118千人(△45.2%)まで落ち込んでおり、さらにはコロナ禍の影響が残る2022年度の輸送人員1,161千人をも下回る結果となり、鉄道利用者の減少に歯止めがかからない状況であります。社会的な情勢におきましても、国を挙げての賃金引上げ施策による人件費の増大、物価高騰、エネルギー価格の高騰の影響を大きく受けることとなり、2023年度の営業収支については、収入181百万円に対して経費305百万円と124百万円の赤字となり、鉄道事業の存続が危ぶまれる状況であると考えます。

つきましては、伊賀地域のライフラインとして鉄道の使命を果たすため、この度の旅客運賃の変更におきましてご利用の皆様にご負担をお願いいたしたく、本申請に及んだ次第です。当社といたしましても、2024年度には上野市駅周辺におけるにぎわい創出事業による新たな観光施設のオープンや大阪・関西万博効果による新たなお出掛け需要の拡大の機をとらえ、引続き積極的な旅客誘致・情報発信とともに旅客サービスの向上に努めて参ります。

II. 主な申請内容

- 申請日 2024年11月15日(金)
- 改定予定日 2025年2月1日(土)
- 改定率

| 普通旅客 運賃 | 定期旅客運賃 | |
|------------|--------|------|
| | 通勤 | 通学 |
| 8.2% | 15.0% | 7.0% |

- 初乗り運賃(~3km) 220円(現行200円)

5. 定期運賃平均割引率(1か月定期券)

通勤 33.3%(現行36.9%)

通学 69.9%(現行69.4%)

Ⅲ. 申請・現行運賃比較表

1. 普通旅客運賃表(大人)

| キロ程 | 現行運賃 | 申請上限運賃 | 差額 |
|-------|------|--------|----|
| キロ | 円 | 円 | 円 |
| 1~3 | 200 | 220 | 20 |
| 4~6 | 260 | 280 | 20 |
| 7~10 | 300 | 330 | 30 |
| 11~14 | 370 | 400 | 30 |
| 15~17 | 420 | 450 | 30 |

2. 定期旅客運賃(通勤 大人1ヶ月)

| キロ程 | 現行運賃 | 申請上限運賃 | 差額 |
|-------|--------|--------|-------|
| キロ | 円 | 円 | 円 |
| 1~3 | 7,790 | 8,960 | 1,170 |
| 4~6 | 9,750 | 11,210 | 1,460 |
| 7~10 | 11,690 | 13,440 | 1,750 |
| 11~14 | 13,650 | 15,700 | 2,050 |
| 15~17 | 15,590 | 17,930 | 2,340 |

3. 定期旅客運賃(通学 大人1ヶ月)

| キロ程 | 現行運賃 | 申請上限運賃 | 差額 |
|-------|-------|--------|-----|
| キロ | 円 | 円 | 円 |
| 1~3 | 3,770 | 4,030 | 260 |
| 4~6 | 4,720 | 5,050 | 330 |
| 7~10 | 5,650 | 6,050 | 400 |
| 11~14 | 6,610 | 7,070 | 460 |
| 15~17 | 7,550 | 8,080 | 530 |

Ⅳ. 新たな割引定期券の導入

○通学定期券(12か月)の発売開始

通学定期券において、今までの6か月定期券よりも割引率の高い12か月定期券を新たに発売します。有効期間は4月1日から翌年3月31日までの12か月間の固定です。これにより通学定期券の更新が1年に1回となり、発売窓口へ購入に来るお客様のご負担の軽減を図るとともに、定期券代も現行の6か月定期券を2回購入するよりもお安くなります。

例) 上野市~伊賀神戸駅間の通学定期券で1年間通学する場合

(現行) 6か月定期券35,700円×2回=71,400円

(改定後) ⇒ 12か月定期券71,270円(130円安い)

(定期券の割引率)

①3か月定期券：1か月定期券 × 3倍の5%引き

②6か月定期券：1か月定期券 × 6倍の10%引き

③12か月定期券：1か月定期券 × 12倍の16%引き(通学のみ)

以上